

日記帳

二二二二

町部 糸子

八月四日 金 晴



今日は九時ごろお豆ふや
さんへお使に行つた。そ
してお豆ふを二丁と豆に
うを四合買った。とても
おもいので家へかへって
下におろすと初めては、
とした。今日日記を書い
てらたらけいかいけいほ
うのさいれんがなつた。

八月五日 土 晴



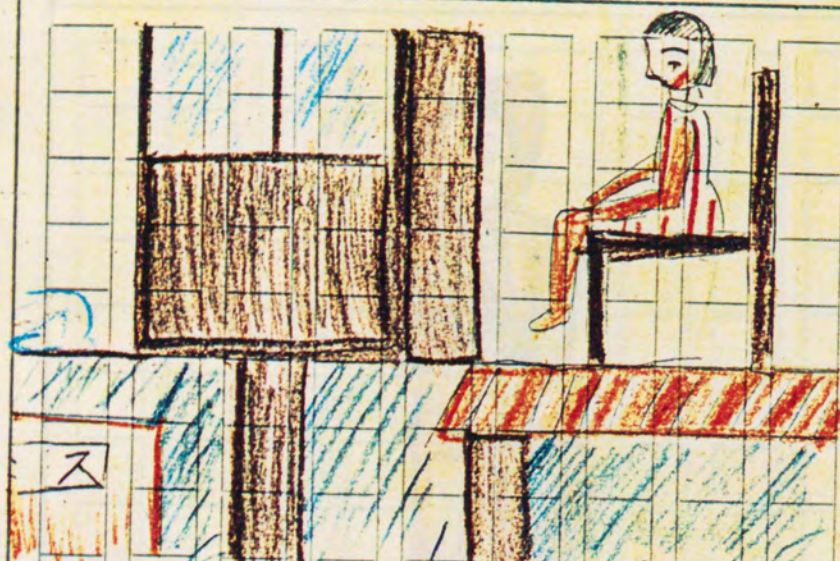
今日は、學校へ行く日だ。
だつたが夕べからすいかい
けいけいが出てるので休
んだ。時ごろやつとかい
じよになつた。二時ごろと
こやさんへ行つていらつ
やいとお母様がおしや
つたので行つた。お白いや
ほほべにきつてくれた。

八月六日 日 晴



今日は昨日けいかいけいは
うで學校へ行けなかつたの
で今日行った。學校へ着く
ともう皆んな来て遊んでぬ
た。私も洋服をぬいで外へ
とび出した。私は真先に鐵
棒へ行つた。ひさしぶりで
皆んなと遊んだのでとても
面白かつた。

八月七日 月 雨



今日はお母様がほごしや會
にいらつしやつたのでみい
をばちゃんと私と二人でお
るすゐをしてゐた。外では
一時々雨がぱつぱつと降つて來
るいやなお天氣だ。私はお
もはづつまらないなあ」と
つぶやいた。

又

八月八日 火 晴



今日みいをばちやんと二人
で良子をばちやんの所へ行
った。さうしたらるすでだ
った。づい分待ったがかへ
て来ないのでおむかへの
人にきいたら阿佐ヶ谷にい
ら。しやいました。とおっ
しやった。行きちがひにな
ったのだ私は良子をばちや
んをばちやんと思つた。

八月九日 水 晴 風強し



今日はお晝まで防空えんし
ふが有った。おとなりのを
は様やお母様と防空ごうに
はい。てるたふすぐそげで
どかんとき大きな音がして、
男の人が村田さんに50キロ
せういだんとうか。とさけん
でぬた。お母様もをば様も
出ていかれた。私は一人

でごうにはいつてぬた。外の道の方を大勢バ
 クツを持って走って行く。しばらくするの門
 の方からむくむくと白い物がこちらへやって
 来た。だれかがどくガスとさうだ。私は、
 バンドにはさんで有った手ぬぐひを口と鼻に
 あててゐた。さうしたらどくガスも通りこし
 てしまった。さうしたら休けいになつたので
 ごうを出た。



八月十日 木 晴



今日はお母様がおなかをこわ
 してねえいらっしやる。夕方
 みいをばちゃんとはいきゆ
 所に行かんとしてゐたら永島
 さんのをば様がいらっしや
 して補助たのはいきふが有り
 ますから町會にもろひに行き
 ませうとおおしや一た。そ
 れでふろしきとおみそを入る

おべんたう箱と兩方持って行つた。さうして
 かへりにはいきう所によつた。をばちやんが
 おなかがすいた。私はうんすかないわ。する
 とをばちやんがその持物を持ってえきへ行
 てぼすとの前でおがんでくるといい。とお
 やつた。私はどうしてとたづねるとおなかが
 すくからとおっしゃつたので思はず笑つてし
 まつた。

八月十一日 金 晴



今日は、おぼやさんがある
 日だった。私の家では、な
 んはさんにおたのみした。
 そのかはり私がおるすゐを
 して赤ちやんのおもひをし
 てゐた。あやすとにこにこ
 笑ふ。とてもかはいい。名
 は牛香子あやんといふ。

八月十二日 晴



今日も學校へ行く日だ。朝
會の時主事先生がそかいに
ついて色々話してなった。
それかろうさういをした。私
はけんきう室だ。た。はん
長さんと後追水さんと私と
の二人あはせて三人。人づ
が少いのでとてもよかった。

八月十三日 晴



朝かろいーもの通り空は真
青にすみ渡り。雲は、一て
んも無くとてもよいお天気
だ。方々でせみがうるさく
鳴く。時々とんぼがいぎほ
ひよくとんで行く。ヤシの
先にとまる事もある。つか
まへやうと思ってもすぐに
逃げてしまふ。

八月十四日 月 晴



もうじき秋が来る。私は秋
が大スキだ。お米の取れる
のも秋だ。だけれど私のお
たんじやうも暑いだ。けれ
どさう考へれば考へるほど
暑くなる今日もいつものや
うにとても暑い。キッと三
十度をこしてゐるだらう。

八月十五日 火 晴



今日は、おとなりで遊ぶに
行つてお姉ちゃんとかくし
っこをした。二人の間にな
にかおいておいてあひ手の
見てゐないすきにかくして
しまふのです。お姉ちゃん
はとてもうまくて私が一か
いもかくせない内に三か
もかくしてしまひます。

八月十六日 水 晴

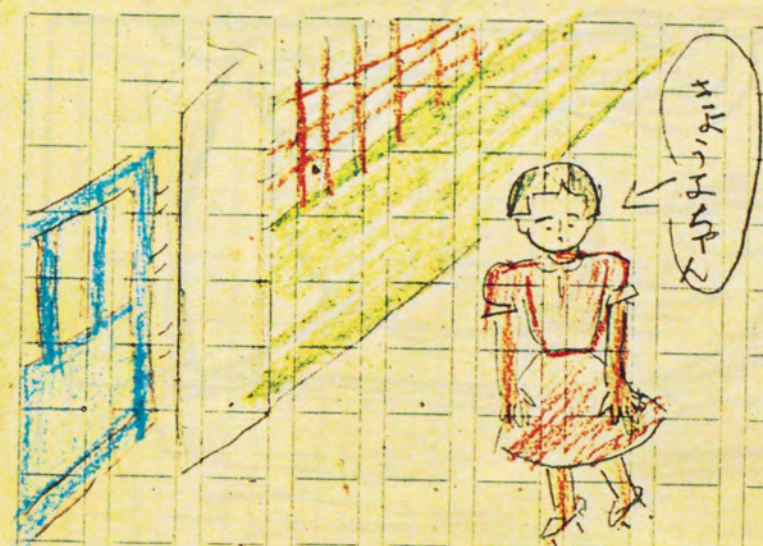


今日は、おむかいの中村さんのお家からリヤカーをおかりして、そかいの荷物を何佐々谷のえきまではこんでいった。そこで切ぶを買って荷物を出した。私はせい服を着てついて行ってうけ取を持ってまっすぐに学校へ行った。途中で、一部

六年の佐竹さんと西川さんにあった。学校へ行って先生にうけ取を渡してかへって来た。かへりは、とても電車がすいてゐた。かへった。時計を見たらもう十二時ちかくだった。

八月十七日 木

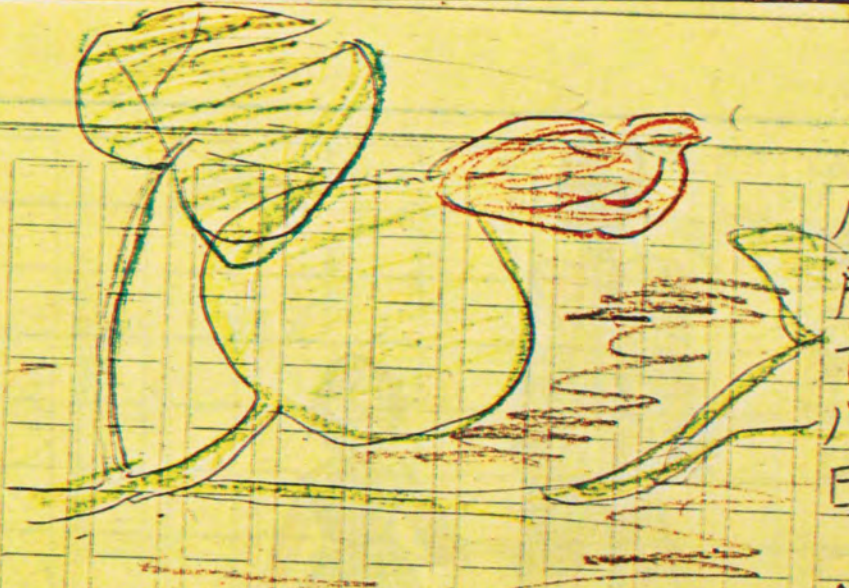
晴



今日は、すが原さんのお家
 へ行った。風がないのでと
 てもむし暑い。行って見た
 らきょう子ちゃんも来てゐ
 た。本を讀んでゐたりきよ
 う子ちゃんが門の外のドブ
 をプールのきれいな水が流
 れてゐるからはいって遊ば
 う。といった。それで門の外

へ行つて見るとドブの水がきれいにすんでゐ
 る。はいつて見ると、とてもつめたい、よい
 氣持だしばらくすると水がへつて来たので、
 やめて上つた。四時ごろかへつた。とても面
 白いのでかへるのがいやなほどだった。

八月十八日 金 晴



曇を見たらこの間味いた
かぼちやのめ花の實かして
も大きくなってるた。早く
も。と大きくなってた。ぐら
れる。うになれはいいと思
った。おとなりのがとても
大き。もうたぐられさう
だ。うらやま。

八月十九日 土 晴



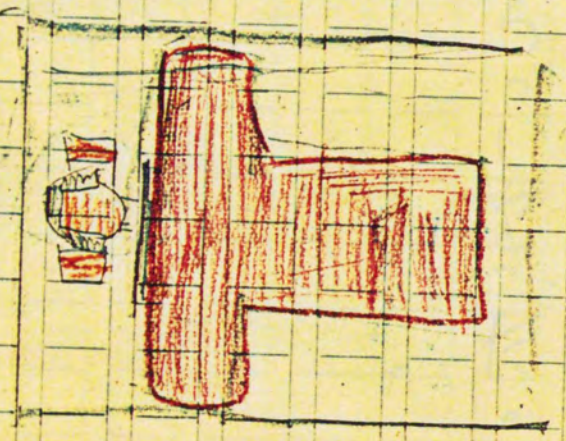
今日夕方、曇のせれをして
あたる赤かぶの真赤な顔が
曇の土からのぞいてみた。
どうしてそれもしないしお
酒も飲まな。いのに赤いのか
とふしぎに思った。出て及
るとくさるのて土をかけて
やった。

八月二十日 日 晴



長い夏の休みも今日で終り
だ。そして、明日から集だ
んそかいに行くのだ。私は
うれしかった。夕方ビルマ
入のモンフラといふ人がお
父様をたずねて来た。それ
で私はその人を氣しやう部
まであんないして行って上
けた。

八月二十一日 月 晴



今日は、学校の始まる日
だ。けれどおなかをこは
してゐるので休んでねて
みた。とてもつまらなか
った。お母様+学校へ行
らっしやっておるすなの
で、一人でねてゐた。

八月廿二日 火 晴



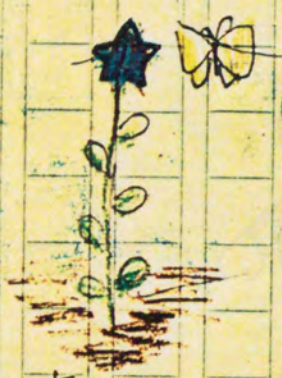
今日も休んでねてみた。
お母様がよそに行らっし
やったので一人でいるす
居をしてみた。さうした
ら松浦さんのそば様が朝
顔が咲いたので持って來
て下さった。桃色い大り
んの花が二つも咲いてる
る。とてもきれいだ。ね

てぬてもつまらないので起きて本を讀んで
た。おひるご飯をたべて、二時ごろかへて
いらっしやった。

八月廿三日 水 晴



今日はだいぶよくなったの
で、おとこをかたづけして起
きてるた。朝顔が又一つさ
いた。今日の花はむらさきが
かった桃色の花だ。とんが
った山の形をしたばうしみ
たいだ。かぼちやのめ花が
咲いたので、朝御飯がすん
でから雄花の花ふんをつけ



てやった。實は、わりあひに小さいが花がと
ても大きい。かぼちやの葉っぱぐらひ有る。
ききやうも庭に一つぼつんとさびしさに咲
いてる。てふてふがよろこんでとまってる
る。つかまへやうと思ってもためた。すくに
逃けてしまふ。たまならずぐに取っちやうの
に。どうして、ひらひらとん
で逃げるてふてふを取る事が出
来るのだらう。

八月廿四日 木

晴 時々雨



今日は、とてもへんなお天
氣だ。お天氣がよくなつて、
日が照つて来たと思ふと、
急に雨が降つて来る。それ
をのにせみは、うるさくな
き立てる。一匹がなきやむ
と又一匹がなき出すといふ
やうにひっきりなしになく
耳がつんぼになりさうだ。

八月廿五日 金

雨 時々晴



今日は、雨が降つてゐる。
外で遊んでゐる事が出来な
いのでお人形のよだれかけ
を作つた。ぶちをト赤色の
ししう糸でふちをかがつた
さうして、白いリボンをは
ものかけりにつけた。出た
のでお人形にかけさせた。
とてもよくにあふ。帽子と

洋服もお母様がぬいなをしてFマアと鳴
 はいいのを着てゐる。動かすとFマアと鳴
 く。私はそのお人形が大すきた。

八月廿六日 土 雨あめ



今日は、お母様と学校へ行
 った。さうしてお母様は阿
 部先生とちよつとお話をな
 された。まだよくなるいの
 でだめださうでした。それ
 ですぐかへつて来た。かへ
 ると中大塚で買物をした。
 お家へかへるとたまがにや
 あとなきながら出て来た。

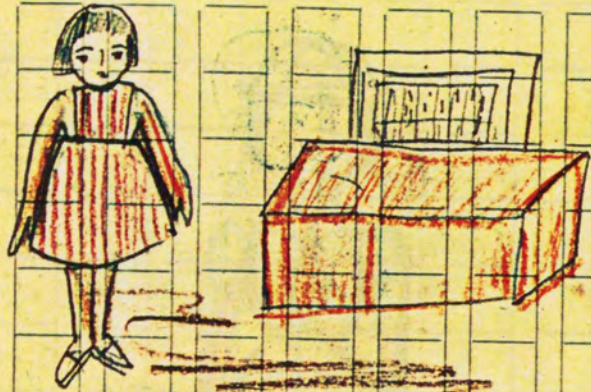
八月廿七日 日 晴

今日は早く起きて組長さんのお家にしんぶんを取りに行つた。今日から組長さんの所へまよめて来ることになつたからだ。取りに行つたらもう三枚しかのこつてゐなかつた。私は、毎日新聞を取つてかへ



八月廿八日 月 晴

今日は、新聞を取りに行つたら、早いのでまだだれも来てゐなくて新聞も来てゐなかつた。少し待つてゐると永島さんのちかをちやんが新聞をかかへて来た。私は、新聞を持ってかへつて来るとお父様が待っていていらつしやつた。

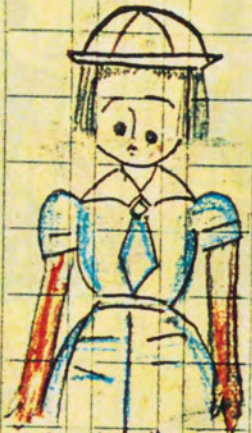


八月廿九日 火 晴



今日は、はいきふ所へお砂糖を取りに行った。はいきふ所の前には人がたく山並んでゐた。並んでゐると松浦さんもかいにいらっしゃった。中には七つぐらひの男の子と女の子が買^ひに来てゐた。とても暑い。十時ごろ病^みんへ行^きった。

八月廿日 水 晴



今日はいよいよ校^まるの本間先生に見^まて^いた^だ。さうして來月^{つき}ごろに行く事にきめた。しばらくよそに行^きな^かったのでかへつて來るととてもくたびれた。さうしてお晝^{ひる}飯^{いひ}はとてもおいしかった。二時半ごろにたべたのでおなかがべこべこだった。

八月廿一日 木 晴



今日は、午後にかんをぢぎ
んがいらっしやった。それ
で、お茶をはこんだりした
午前にケブスの二度目のち
うしやをしたので右の手を
動かすとしてもいたい。と
ても困った。でも明日から
そかいすると思ふとうれし
かった。

九月一日 金 晴

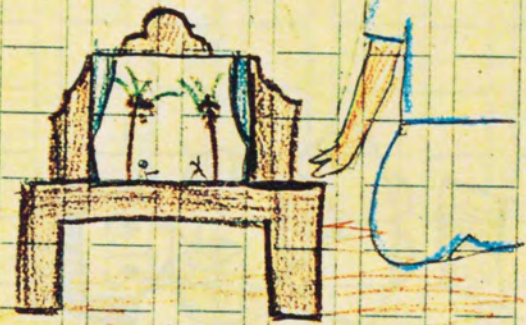


今日からそかいするのだ。郊
外園がおかからないので困った。
はいって行くとお友だちは、
理科をしていらっしやいまし
た。お母様はすぐおかへりに
なりました。私は皆んながし
んせつにして下さるのでとて
もたのしく一日をすごしまし
た。

へ行々道

反 郊外園をよく知らないのに知ったふりをし
省 てみたのがわるいと思ひます。

九月二日 土 晴



今日は、たのしみにしてゐた
はっぺう會がなくなつたので
つまりません。けれどそのか
はりに紙しば居をして下さい
ました。海の戦といふのとや
しの仲さいといふ面白いお話
でした。

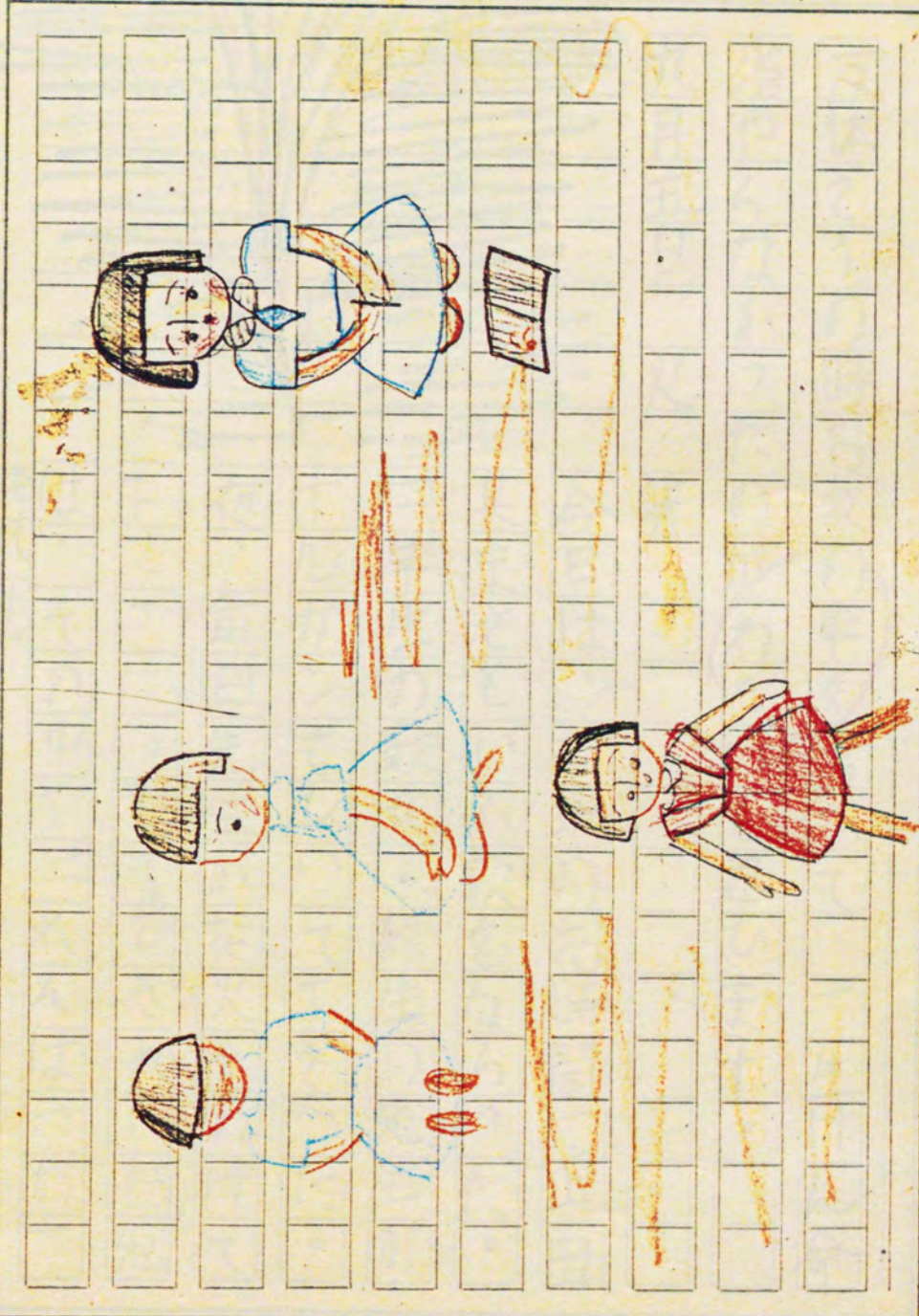
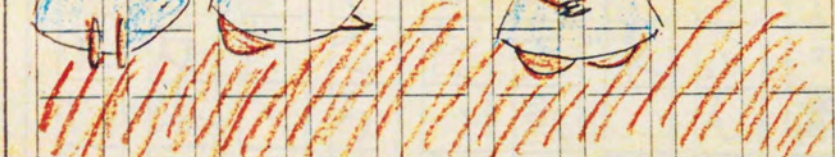
反省 橋本さんとけんくわをしておこつたのが
わるいです。

九月三日 日 晴

今日は、四、六年生の面會日なので、私たち
三年生は、女學校へ行って日記やお手紙を書
いてゐた。私は、日記もお手紙も書けたので、
岡見さんときせかひをして遊んだ。しばらく
すると國民學校の方でたいこがなつたのでや
めてかへつた。反省夜でふぢやうに行く時人
のおふとんをふんづけて通つて人がおこつて
もしらなふりをしているたのがあるんです。

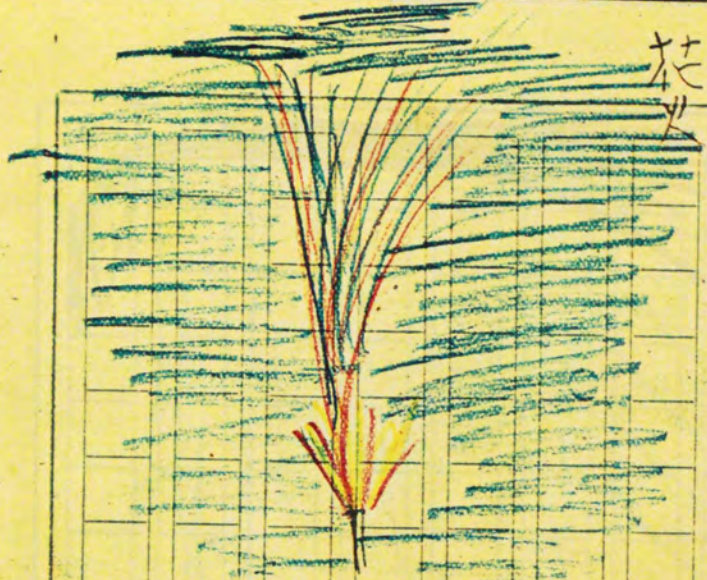
九月四日 曇

今日は午後になりやう所に行
 った。かへってから、お八つ
 に、あまいあめを二ついたが
 いた。それをいただきながら、
 皆んながトランプをしてゐる
 のを見てゐた。夕御飯の時遠
 くの空の雲の切目から月日の
 光がばくと見え、まるで光の
 お池のやうになつてゐました。



反体さうの時お家の事を考へて、一生けん命
省わらなかつたのがあると思ひます。
九月五日 火 晴

今日は、音楽のお時間に山田
長まさといふ歌をならつた。
四年生の歌だ。教生の先生が
オルガンをひいて下さつた。
夜、前田先生が花火をあげて
下さつた。とてもきれいだ。私
は、その中で三けんぱつが一
番好きだ。



反省づんで有るおふとんによしかかつたのが
あるいです。道にはみ出てるおいものつる
を知てゐてふんだのがわるいです。

九月六日 水 晴

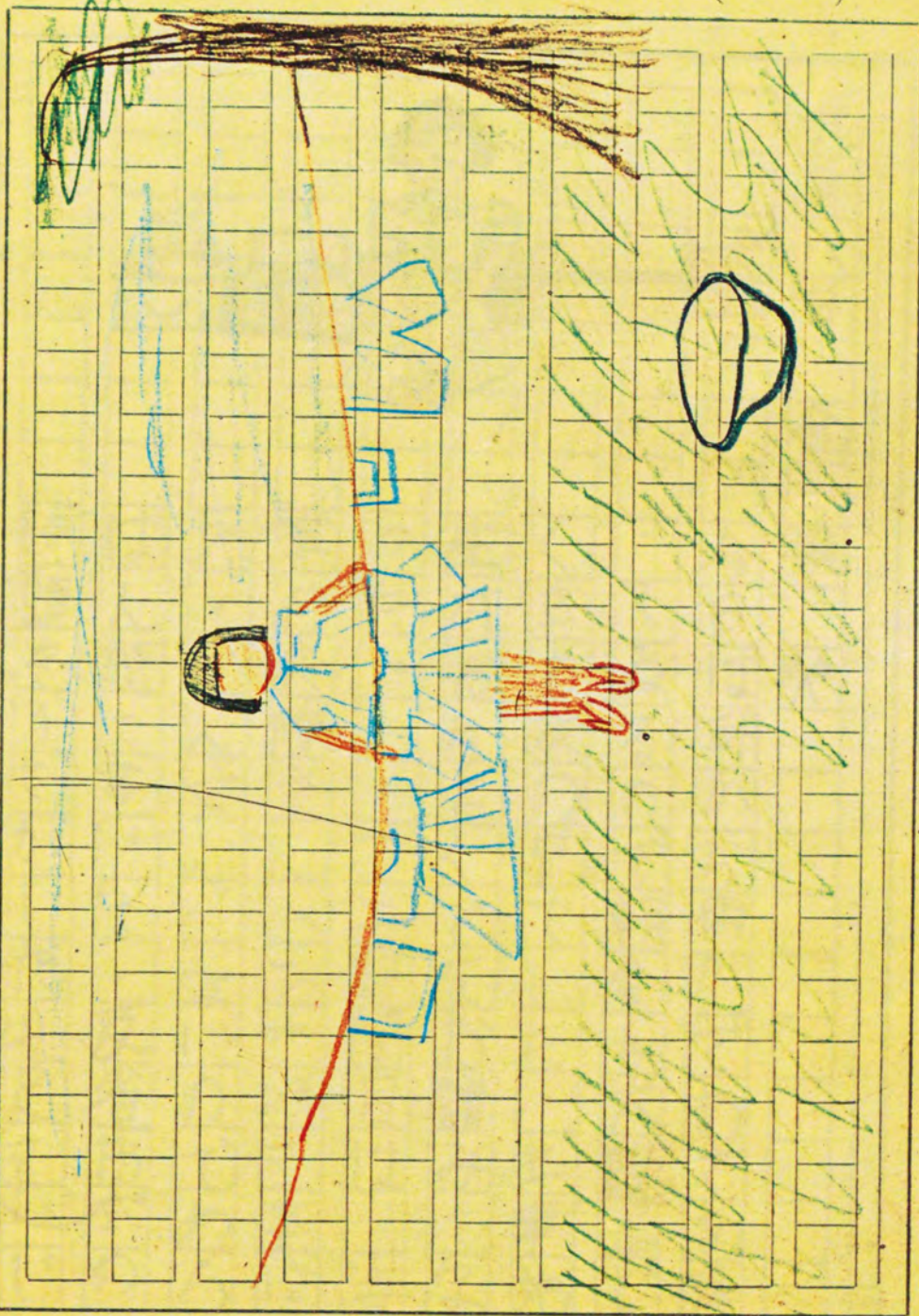
今日は、お天気もよいですが風があつてとて
も涼しい日だ。松の木が生えてゐる運動場で
遊ぶとなをさら涼しい。四時間目は自習でせ
んたくをした。私はシミーズがとれたので
あらつた。反省石田さんがいふのに
むりに一しよに遊ぶばらとしたのがわるいです。

九月七日 木 晴



今日は、おべんきやうがすん
でから中村さんと平松さんと
石田さんと橋本さんと私と五
人で一さんばらりこをした。
とても面白かった。雨が降っ
たあとなので草がぬれてゐる
ので足もげたもびしよりぬ
れてしまった。

反省人のげたをふんでひっく
るがへしてそのままにしておいたの
がわるいです。



九月八日 金 雨 卯



今日は朝から雨がどあどあ降
ってゐるので朝會も大**詔**奉ど
く式も家の中でした。主事先
生がおちよくごをお読みにな
った。一二時間目は、海
軍の兵隊さんへこの**詔**を
た。びんせんがよいのでわら
ばん紙に書いた。反省書の
時頭をうごかした**詔**足をい
び

九月九日 二 曇

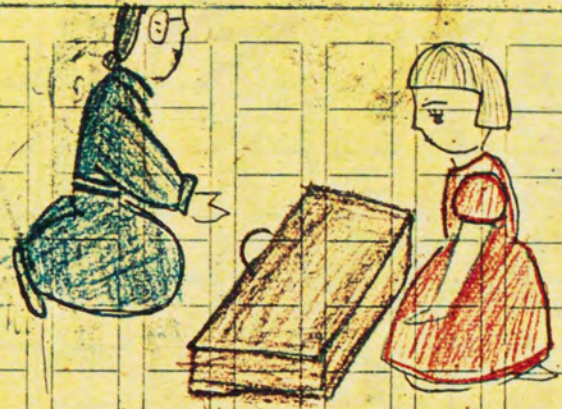


今日は、朝入江さんと一しよ
に顔を洗った。曇の向かうの
方は、きりよく見えな
顔を洗ふと顔も心もさ
る。しばらくすると朝のこ
いさつになるので、やめてか
たうけた。反省書うの時わ
ぞと一休けん命やらなかつた
のがわるいと思ひます。



九月十日 日 晴

今日は、楽しい面會日だ。朝
會がすむと、二部三年の大皆
んなで草の上にむしろをしい
て、その上で遊んでお父様や
お母様方のいらっしやるのを
~~持~~って見た。私のお母様は組
で一番早くいらっしやった。
お母^{さま}のさしてゐる日がさが、
草色なのですぐわかった。う



れしくて、何かから話していひわかからないほ
どだった。はじめは、お母様の持っていていらっ
しやった小さなドラムに持ち物を入れかへ
てせい理した。それもすぐ終ったので二人で
ゆっくりと色々な事をお話した。お晝ご飯は、
うれしいのでも早くいただけた。お八つ
には、あまいおいしいなしを一人一つづつい
ただいた。すんでから、紙しば居大會が有っ
た。お母様方は、後で見えていらっしやった。
三つ有ってはいは、母のつばさ戦ふ少國民阿

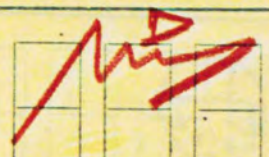
九月十一日 月 晴



今日は朝、早く目がさめた。もうすこしで、石田さんの上にのしかかろうとしてゐたのでびくくりした。急いで本の所へかへった。しばらくくすると石田さんも岡見さんも目をさました。窓ごしに松林を見るととてもきれいだ。

新丸だ。三つともためになる面白い紙しば居
 だった。それがすむと四時になったのでお母
 様はおかへりになった。

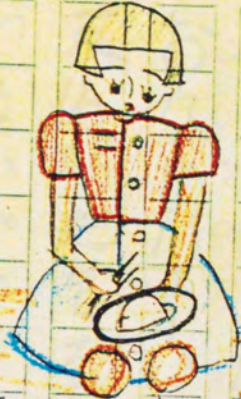
反省一つんで有るおふんによっかかりました
 二お母様にあまえたのがいけません。



Blank lined area for writing.

反、朝かやの中で大きなこえでお話をしたの
省があると思ひます。

九月十二日 火 雨晴



今日は、朝、雨が降ってゐた。
雨の降る音を聞きながら朝の御
飯をいただいた。三時ころあつ
まれと先生がおっしゃったので
集ま、たら石田先生がせうしゅ
うかいじよになつたのでかへつ
てゐるしやうたのた。とても

うれしかった。皆んなもにこにこうれしそう
だった。

反、人のげたをひっくりかへしてそのままに
省してほっておいたのがわるいと思ひます。

九月十三日 水 曇



今日は、午後に武蔵しりよ
うよう所へたいじゅうはか
りに行った。私は、二十二
キログラムだった。かへっ
てから十分ぐらひしてから、

かみくずひろひをやった。校舎の
 うら御の方に落ちてゐる紙くずをひろった。
 少しのやうでもよくさがす。と草むらの中に
 かくれて落ちてゐる。それでたく山たまった。
 おハっぱは、枝豆だった。はたらいた後なので
 おなかですいてゐたので、とてもおいしかった。
反省朝起きる前かやの由で、お話をしたのが
 わるいです

九月十四日 木 雨曇



今日は、雨がしとしと降っ
 てゐる。松の葉がぬれてき
 らきら光つてゐる。國語の
 お時間は、静かな雨の音を
 聞きながら、郊外の雨とい
 ふつうり方を書いた。私は、
 今日の事を書いた。
 反省先生がいけないとお
 っしゃったのにおふとんによ
 りかかれました。

九月十五日 金 雨曇

ヨイシヨ



今日は、午後に陸軍のほき
う所へ草取に行った。草が
とてもたく山はえてゐた。
なかなかぬけないのでしり
もちばかりついてゐた。で
もどうやらぬけた。草むら
だったのぬいてしまふと
コウロギがたく山出て来た。
三時ごろかへった。かへり

ヨイシヨ

にはたきぎをいただいたので、郊外園まで持
って来た。手足を洗ってからお八つをいただ
いた。あめが三つだった。はたらいたあとな
ので、とてもおもしろかった。

反省ほきうしよの中でおしやべりをした。

草をぬく時こしをおうしてぬいた。

今日はとてもよくはたらきましたね

九月十六日 土 雨



今日は、午後に雨が降ってゐたので、お話と歌の會が有った。番組は五つ有った。その中でも一番さいごの主事先生の火をたべる牛品が一番面白かった。先生の先生方の歌も有った。とてもたく山歌って下さった。反おふとんによりかかりました。省

九月十七日 日 曇



今日は四、六年生の面會日だ。私たちはとこやさんに頭をかっ
ていただいた。とこやさんなの
です。でも早くて、すぐにじゅん
番がまわって来た。とこやさん
の牛が動いた。私の頭はきれ
いになつて行きました。頭がき
れいになるととてもよい氣持で
した。反省夜ごふじやうに行く
時わからないうて人のげたをはいて行

九月十八日 日 晴



朝顔を洗って、はらうさぎを見に行ったら、うさぎが出てみた。なんだか、よく見るとお家のたまによくにてゐる。皆んなが、そつまいもの葉を取って来て、やたらとてもちいさうにむしやむしやたべた。
反自分ばかりだいて、みるに省だかして上げなかつた。

九月十九日 火 晴



今日は、午後にけいかいけいはうが出た。私たちは、皆んな、防空服さうをして、向かいの松林にむしろをしいて、ねて本をこんでゐた。二時間ほどたったら、けいかいけいはうかいよになつた。くうしふにならないですんだのでうれしいと思

った。反省橋本さんがお手玉のやり方をちい
へてといたったのにおしへてあげませんでした。
九月廿日 水 晴

今日夕方岡見さんや石田さん
とお手玉をしてゐたら、三つ
た先生が三部三四年の方お手
紙が来ました。とおっしゃっ
てわけて下さいました。私に
は、知えさんかると、お母様
からと二通来ました。知えさ



んからのには今度女の子が生まれましたと書いて
有りました。私は、知えさんのお家へ行かれ
ないのですね。お母さんに思ひました。
反人のげたをだまっではいて行つたのでわる
省いと思ひます。

九月二十一日 木 晴



今日は、じゅぎょうがなくて、
午前中は、ほきう所の草取り
に行きました。はたらいたの
でおなかぺこぺこになって
お昼ごはんがおいしくいただけ
ました。夕方、ごはんがす
んでから向かふの空を見たら
夕やけで空がとてもきれいで
した。

反草むしりの時
省のがわるいです。

九月廿二日 金 晴 行軍

今日は、行軍で明治神宮へお
まゐりする日だ。東京の町へ
行けるのだと思ふととてもう
れしい。五時に起きた。おべ
んたうをつめて、用意が出来
たので出かけた。小平から電
車に乗っていった。窓から、



外を見ると色々なけしきがどんぐりうしろの
方へとんでいくやうに見える。高田馬場へつ
いた。なんだかつかしいやうな気がする。
そこから歩いて行った。途中で、花園神社へ
おまわりした。明治神宮へつくると、とてもお
なかがすいてしまった。神殿の前ではい禮し
て、からいよいよ休けい所へ行つておそろひ
のおべんたうをいただいた。とてもおいしか
った。少し休んでから出發した。かへりは、
高田場まで、省線に乗って行った。

反くたびれたのでだらだらしてゐたのがわる
省いです。

九月二十三日 土 晴

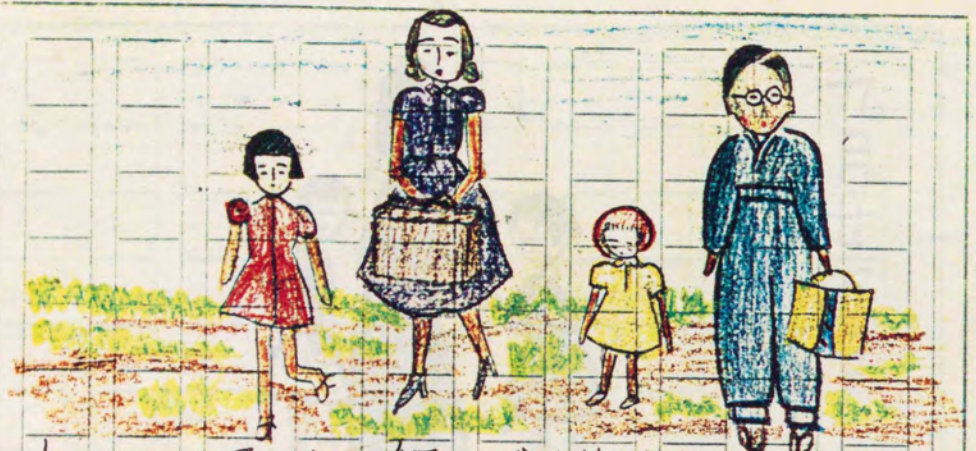


今日は、秋季皇れい祭だ。
それで、じゆ業はなかつた。
午前中には、作業をやって、
午後、お話會があった。ど
れも皆んな面白いのばかりだ
った。その中でも弘田先生の
お話がこわくて面白かつた。

反省人のげたをひくりにして、そのま
にしてをいた。ふとんによかかた。

九月廿四日 日曜日 晴 面會日

今日はたのしみにして待って
た面會日だ。三年生ぜんぶで
草の上にむしるをしいて待って
みた。中々いらっしやらないの
で気がとても、むしやくしやし
て来た。やつと十時ごろかきね
からのぞいて見たら、お母様が



良子をば様や正子ちゃんとい
つしよにいらっしやるのが見
えました。しばらくすると、先
生が二部三年日下部紀子とおよ
びになった。私は、先生の前に
行って二部三年日下部紀子面會
してまゐりますとおことわりし
てから急いでお母様の方へはし
って行った。又お母様が大きな
トランクや冬の洋服や色々な物

を持って来て下さったので中へはいってにも
つをせいとんした。出来てから皆んなで林の
方へ行つてむしろをしいて、その上で持つて
来て下さったお手玉をして遊んだ。正子ちや
んがお手玉をしてゐるとかしてかしてといふ
のでかしてあげたらどっかへ行つてしまつた
さがしたら一部四年の方の所で見てみた。お
かへりになる時はとてもつまらなかつた。
反いらつしやいませをいふ時ていねにやら
省ないでらんばうにやつた。

九月廿五日

〔月晴〕

今日は、午後に、先生が、

お式をするから荷物をとけ
ろ。とおつしやつた。私は、
何んのお式かと思ひながら
かたづけけた。さうしたら、
山本佐代子先生がおやめに
なつてたいわんにおかへり
になるのでおわかれのお式
だった。私は、とても悲し
かった。



反二人のげたの上に乗ってひっくりがへして
省そのまゝにしてをいたのがわるい。

九月廿六日火曇



今日は午後にはきう所へ行き
ました。さうして又、れん兵
場の草取をした。少しくたび
れたがかへりに又、たき木を
持ってかへった。私は、長い
いたを、岡見さんと迫水さん
と三人で持った。草がつゆで

ぬれてゐて、歩くと、足がぬれてとても困っ
た。重たかったので牛がとてもいたくなつた。

反一日記をぞんざいに書いたのがわるい。

省二たき木を持つ時へんなに持って、ほかの
人の困るのになをさなかつたのがわるい。

九月廿七日水晴今日は、三時間目の体操のお



時間に林の中へ行って栗をひろった。三人一組になってはんを作っていた。私は六ばんだった。中々よくじゅくしてゐるのがなかった。だけれども見つけた時は、とてもうれしかった。一時間かかってやうやく十五しか取れなかった。でも四十五ぐらひた

く山取った組も有った。お八つには、私たちがひろった、くりが出た。三つづつだけだったがとてもおいしかった。



反一急いでくつのかかときみつぶしてはい

たのがあるい。

省

九月廿八日 木晴

今日の三時間目の体操の時は、

岩れ先生がばいきんのお話を

して下さった。それから三色

がっせんをして遊んだ。私は

赤のはちまきだった。皆んな

一生けん命戦った。お喜のこ

はんは、おいしいおいしいま

ぜごはんだった。おなががす

いてるたので、見てゐる間も

ないほど一生けん命たぶた。



それでもまだおなががピープーだった。

イシイ
イオ

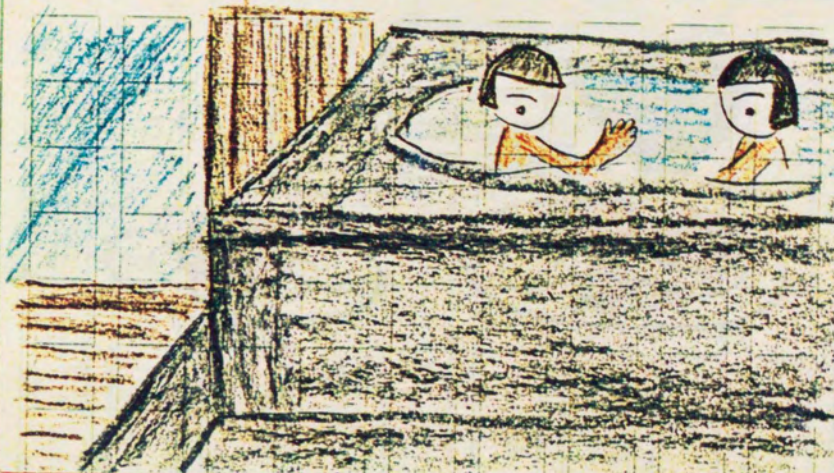


反一四年生とけんくあをしたのがわるい。

二お家へかへりたいたのわるい。

省三はん長なのにくずくしてゐたのわるい。

九月廿九日 金晴



今日は、午前中にほきう所へ
行って、午後は、外の机で、
急日記を書いてみた。さうし
たら二部五年の方が三部三四
年の方は、おふろよ。とおっ
しやった。私たちは、用意を
して女学校へ行った。今日は、
とてもゆっくり洗へた。それ
でとてもきれいに洗へた。出
てから、一度、うめる水をば



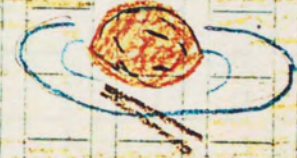
けつにくんで来た。それから又
前のつづきの日記を書いた。

反一 入江さんにお半玉をかきながら、たのがわ

るい。

省二 草をぬく時一生けん命やらなかった。

九月三十日 土 晴 今日は、午後三時から、送別



會が有った。今度、松本先生
前田先生、小管先生、三わた
先生と四人も、先生がおやめ
になるのだ、私はとても悲し
かった。お式がすんでから、
私たちは、遊んでみた。お八
はなかつたがそのかほりに、
夕食の時、ごちさうがとて
たく山出た。ご飯とおみそ汁

のほかに、くずもち、枝豆、柿、ブドウなど
色々出た。おなかかとてもいっぱいになった。
ご飯がすんでからも、くらくらなるまで、先生
が色々な事をやって下さって、たのしくばん
まですごした。

反一 自分だけしよっきを洗ってさっさとかた

づけたのがわるい。

省

十月始



十月一日 日 雨 今日は、朝から雨が降ってゐ

る。今日は、四六年の面會日
だ。私は、三年なので女學校
の方へ行つて遊んでゐた。本
を取りに園舎へかへつたら、
みんながお母様やお母様とた
のしきうにお話してゐた。
おひるのごはんも、女學校で
いただいた。しばらく休んで
ゐると、もう四時になつてしま

つた。お母様方がおかへりになつたので、私
たちは、園舎へかへつて來た。先生が、紆し
ばぬを、二つ見せて下さつた。

反一 食事とうばんなのにうろろして持つて
行かなかつたのがわるい。

省

十月二日

日露



今日は午後に栗ひろひに行つた。この前よりもじゆくしたのがたく山有りました。私のたけぐらひの草を手でわけて行くよ。栗の木の所々にはいいじゆくした實（実）みがあってみます。だんだんくりを入れてゐるばうしがふぢくれて来る。とてもうれしい。時間なつたのでかへつた。かへつて

かり、先生がおはいらなるのでお式が有つた。福田先生とおっしゃる女の先生だ。小菅先生（菅）のかはりださうだ。

一、朝會の時や、体操のお時間にさむいので、	反	ふるゝて、先生のお話や体操を、一生	省	けん命やらなかつたのがわるい。
-----------------------	---	-------------------	---	-----------------

十月三日 火晴



今日は、朝あまり寒かったの
で、冬服を着た。夏服から急
に着たのでしてもあたたかい。
音楽のお時間は、きのふおは
いりになった。福田先生めだ
おならひした。さうして、お
せぎのじゆんをきめて下さっ
た。始めてなのでじゆんじゆ
ん自分の前をいった。

それから今、ならってゐる秋を歌ってお聞か
せした。

反さむいので、ポケットに午を入れてみた
のがわるい。

省

十月四日 水雨



今日は、雨が一日中であざあ
降ってゐる。べんきやうは、
いつものこしかけをふいてそ
の^上で^やつた。外では、^小さ
な^雨が^後か^ちに^降つて^ゐる。
屋^根に^あた^つて^はい^い音^を
立^てて^ゐる。こ^しか^けを^机に
し^て、^その^上で^べん^強した。
お^ひる^は、^うん^どう^して^ゐな
い^ので、^あん^まり^おな^かが^す

いておなかつた。

反 けたをぬぎすてたままにしてをいたのが

わるい。

省

十月五日

大雨



今日は、又雨降りだ。昨日行
軍するはずのが今日までのび
たのに又雨降りでもつま
りない。今日は私たちがあ
うへけいする番だ。私は、石田
くんとはいいた。せつかくき
れいになったのに、雨が降っ
て水たまりにならてゐて、足
がどろんこにならてしまっ
た。かへって長たろ、お八つ

の枝豆が皆なくなつて有った。皆んかそろ
つてからおいしくいただいた。とてもおい
しかった。

反省
お家へかへりたいと思つたのがわるい。

十月六日 金 雨



森先生



又雨だ。どうして、こ
んなに毎日雨が降るの
だらう。いやになって
しまった。二時間目の
図工の時間は、急日記
を書いた。たまってる
たのでとてもうれしか
った。

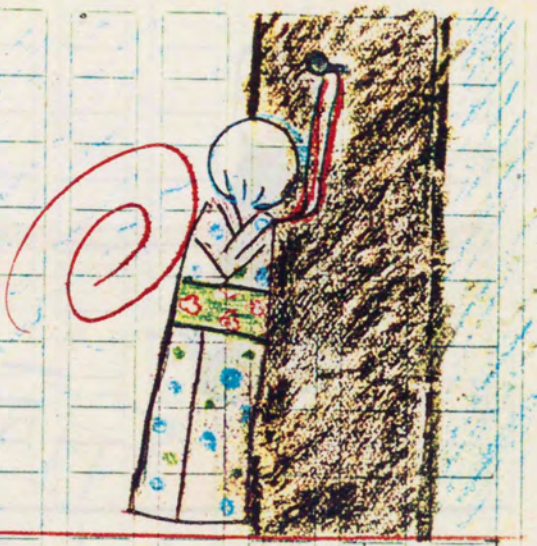
省 反

人のセンキの中へはいつてみた物を
おとして、そのままにしてるたのがわる
い。わすれたので日記をぞんざいに書い

十月七日 土 雨



今日は明日が面會日なのに
雨がまだ降ってゐる。私た
ちは**暮**んでてゐる坊主
を作った。着物は、橋本さ
んの千代紙で作った。かは
いく出来たので外へつるす
のが**あ**しかつたが、おもひ
きつてつるした。ほかにも
色々なてる坊主が風にゆら
れながらさがつてゐた。



てろてる坊主てる坊主あし
た天氣にしてをくれ

反一食事たう番の時自分だけかるく持たうと
省 したのがわるい。

お母様いろいろ

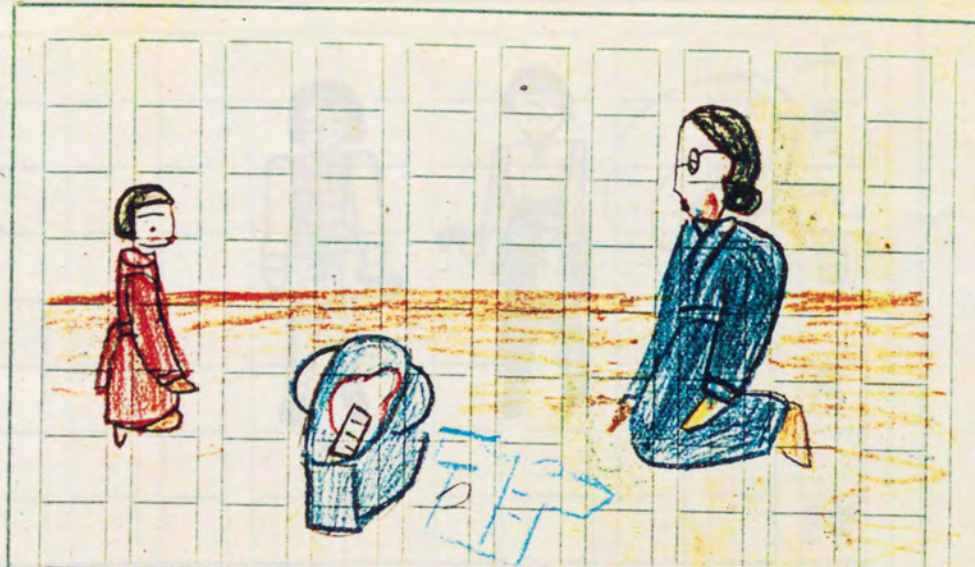
十月八日

晴



今日は面會日だ。ふしぎに今日は晴れた。うれしくてたまらない。私のお母様は三番にいらっしやうた。正子ちゃんも一しよに來た。色々な物をたく山持て來て下さった。正子ちゃんがどんぐりをひろひに行かう。といふのでとても困った。しばらくするとお食車のた

()



いこがなうたのでお母様とわかれて、行った。ごはんがとてもちいかった。ごはんがすすむとおふろへはいった。それからお母様にうらべ行ってかみを切っていた。だいた。正子ちゃんはちよこちよこしてぬて、ちよつと目をはなすとどこかへ行つてしまふ。三時半ごろに

なると、だんだんほかのお母様方がおかへり
になるのでお母様もおかへりになった。今日
はとても楽しい一日だった。

反一、お母様にだだをこねたのがわるいと思ひ

ます

省二、なにしよ話をしたのが、わるいと思ひま

す。

十月九日 月 晴 今日もお天気だ。私は、今

日の班長だ。体操のお時間

は、岩丸先生がいらっしや

らないので、高田先生や有

が先生とりようよう所の方

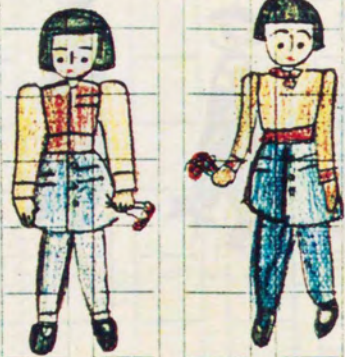
へおさんぽに行つた。私は

入江さんと先とうに立って

歩いた。道の両側には、あ

さみや野藪など秋の草花が

いっぱい咲きみだれてゐる。



かへりには、私の手が草花でいっぱいだった。
私は、その花を近どう先生にさし上げた。

反一、草花をむやみに取ってすてたのがわるい。

省

十月十日 火晴

今日も又、よいお天気だ。

干前中にはきう所へ行った。

今日は、さつまいも畠の草を

取った。おひのめご飯は、と

てもおいしかった。午後は、

ふとんや枕をほした。それか

ら、さつまいものくきの皮む

きをした。へ、こんである所

の皮がなかなかむけないので



困った。

反一草をぬく時やふとんを干す時一生けん命

省やうなかつたのがわるい。

十月十一日 水晴 今日は、午後、りようよ



う所へたい重をばかりに行
った。私は少しふえて、ニ
十二てん二になった。お八
ちには、おいしい菓子パン
が出た。とてもおいしかつ
た。



お葉書

反一せいとんをよくしておか
なかつたのがわるい。

省

夜、先生がお牛紙をくばつ
て下さった。私には、お母
様から一通来てゐた。とて
もうれしかつた。

十月十二日 木

小平

晴



今日は、午前中は勉強
で午後は、小平の小川町
の神明神社まで行軍した。
いつも行くほきう所の前
を、通って行った。神明沖
社と書いて有る所をはい
って行った。道の両側
は、どこまでもつづいて
ぬるやうなふかい林だ。
なんとなくさびしいやう

な気がする。きちんとい
の後は三十分休けいだった。
きかさかんにとんでゐる。
う所の前を通ってかへった。
ハっはおいし柿だった。

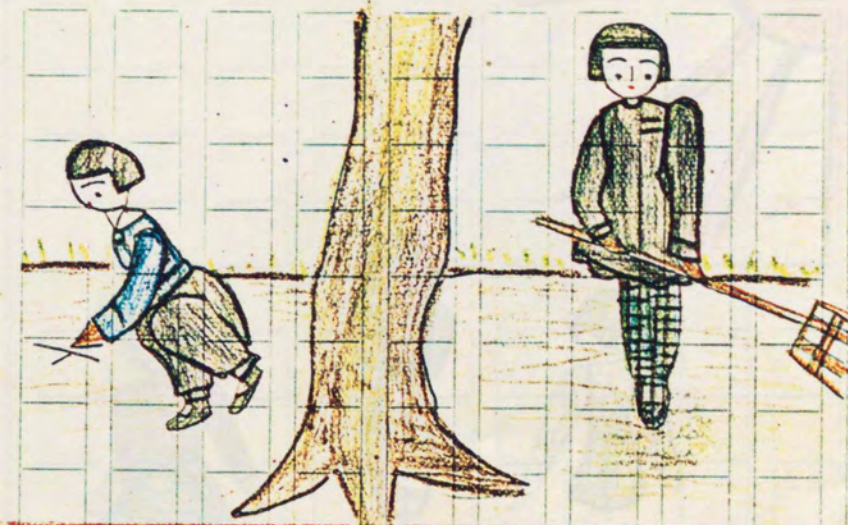


文のうまい

反上別と別との間をあけたのがわるい。

省

十月十三日 金晴



今日は、残りゆう組の高等
斜や一二年が来た。午前中
は、おべん魁で、午後から
は作業だった。私たちは、南側
の松林の精そう作業だった。
熊手が一つしかないので、
私たちがかけり番につかっ
た。おひつは、おいしい採
かしパンだった。はたらい
た後なのでなまきさらおいし

うれし
おれし
おつや
おし
いし

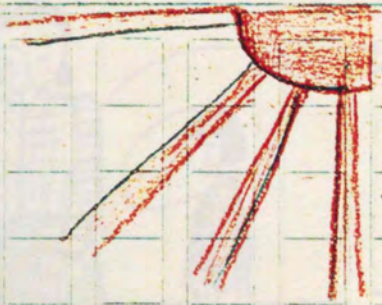


反上作業の時
省い。

か。た。その後で繪日記が
たまってゐるので日記を書
いた。

おらたのけのあね
一新勢余一たのせい

十月十四日 土曜 今日は、とてもよいお天気



だ。朝とても寒かったので



顔を洗ふとすぐに、日のよ



くあたる島の方へ行つて、



日なたぼっこをした。暖い

ので大勢来てゐる。そこに

あつた。今日はお風呂にはい

る番だ。それで私はお勉強がすんでからはい

った。反一寒いので牛をひっこめて、ふるへてみた

いかるのがあるい。

省二きたな~~い~~の~~い~~でげたのせいとんをした。

た

十月十五日

日晴

今日は四、六年の面會日だ。



私たちは、外の机の上で、色々な物を作ったり書いたりしてゐた。佐竹さんのお母様が、私のお母様がおたのみになつたおたんじょうのおくり物のセーターをどけて下さつた。午後に原島先生がいらつしやつた。さうして、おみやげまで下



省
あるい!
反一ぼんぼりのいいのを取らうとしたのが

さつた。おみやげはぼうづきと、つるつるのおり紙だつた。それは、夜、高田先生にわけていただいた。

十月十六日

月曜

今日は、私のおたんじょう

日だ朝、とても寒かったの

でお母様からのおくりもの

の新しくあんで下さったセ

ーターを着た。とても暖か

くてよい氣持だ。午前中、

一二時間目は^休業だった。

私たちは荷物をきちんとせ

いとんした。晩、岩丸先生

と阿部先生が紙しば居をし



セーター

て下さった。とても面白いのを三つもして下
さった。

強い子は寒がうもえぬ

反一寒心のであつ着をしてそれでも寒いので

手を、もんぺの中へ入れてみた。

省

十月十七日(火晴)今日は、神なめ祭だ。それ

で朝會につづいてお式をし

た。午前中は、木札きざしの体練たいれん

大會のけいこをした。私は

かけっこ体操遊あそびぎつな引ひな

どをやった。遊あそびぎはとも

むづかしかった。お晝ひるはと

てもおいしくいただけた。

午後は、お話會わたりあひが有った。

私たちは、始めのうちは、



さんばつをしたりお風呂に入いったりしたの
で、見みなかつた。ちちヨヨキキくくといいいい音が進すすむ
につれて私の頭あたまのかみかみの毛けは、きれきれいいにななっ
て行く。きれきれいいになると私は急いそいでお風呂へ
は行った。出て行いって見たらちやうどちやうど近ちかづき先まへ
生のお歌うただった。

反、日記にっぴをらんぞつに書いたのがわるい。

省